

令和 7 年 6 月 20 日
健康福祉部地域福祉推進課

報 道 機 関 各 位

**児童生徒の心の健康をサポート！
～「SOS の出し方・受け止め方教育」モデル事業の実施～**

山形県では、令和 5 年 3 月に策定した「いのち支える山形県自殺対策計画（第 2 期）」に基づき、令和 5 年度から、公立大学法人山形県立保健医療大学（看護実践研究センター）と連携して「SOS の出し方・受け止め方教育普及拡大モデル事業」を実施しております。

今年度は本事業を県立高等学校に拡大して実施することとしており、下記のとおり山形西高等学校にて公開授業を行いますので、取材くださるようお願いします。

1 モデル事業概要

日常生活において、児童生徒が困難を抱えた際に、自分の心の不調に気づき、適切に相談できるようになることを目指し、実施意向のあった市町村等において 1 校ずつ外部講師が授業を行います。また、授業の前後にアンケートを実施し、効果検証を行います。

授業終了後に児童生徒を通じて保護者あての資料を配布することにより、身近な大人が児童生徒の発信する悩みを受け止めやすくなり、早い段階から問題解決に向けた手助けができることも期待されます。

〔令和 7 年度モデル事業実施市町村等〕市町村：10 市町村、県立高等学校：7 校

2 公開授業

日 時 令和 7 年 6 月 26 日（木） 午後 2 時 35 分～午後 3 時 35 分

場 所 県立山形西高等学校 体育館（山形市鉄砲町 1-15-64）

受講者 全校生徒及び教職員

講 師 山形県立保健医療大学 教授 安保寛明氏

内 容 精神的な負担が長く続き、脳と心が疲れてきたときにどう対処したらよいかの授業を行い、助けを求めたり、自分をいたわることの大切さを学びます。

※取材について

公開授業の取材につきましては、6 月 25 日（水）正午まで下記取材申込先に御連絡ください。また、引き続き別授業が予定されておりますので生徒への取材は御遠慮願います。

【本件に関する問合せ先・取材申込先】
健康福祉部地域福祉推進課
課長補佐 今野 猛
電話 023-630-2274
広報監 健康福祉部次長 菅原正春